

# 令和元年度 評価結果

大和郡山カトリック幼稚園

## 1. 園の教育目標

キリスト教の愛の精神に基づき、幼児たちが、神様から与えられた心身の能力を生かしながら、個性豊かに主体的に行動できる人になっていく事。また、神様が人に与えられた素晴らしい個々の賜物が発揮できるよう、素晴らしい世界を大切にし、他者を思いやる愛の心、豊かな人格を育てていくことを教育目標とする。その目標に向かって、一人一人の幼児を心を込めて大切に見守り環境を整え、保育者の研鑽にも努めるようにする事。

## 2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- \* 保育環境（幼児の意欲と積極性の向上）
- \* 職員の研修（保育現場での実践と応用）
- \* 安全管理（事故、怪我の予防と健康管理・感染予防）

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
* 保育環境	<ul style="list-style-type: none"><li>● 昨年度、屋上整備を行い（テントの張り替え、人工芝貼り）、子ども達の遊び場を提供できた。体育指導の時間のみならず、雨の日や他の保育時間にも多く活用ができ、熱中症の予防にもつながった。</li><li>● 園庭の花壇やプランターに年中季節の花が咲き誇り、子どもたちは季節の移ろいをお花からも感じ取ったり、心晴れやかに園庭遊びを楽しんでいた。</li><li>● 保育室内の清掃の他に、用具をきちんと整えたり、子ども達の秩序感に沿う部屋づくりを心がけた。</li><li>● 幼児の学習意欲や積極性が盛り上がるようにする観点から、園外保育を含め設定保育を見直したり、計画した。</li><li>● 園庭が狭いため、自然との触れ合いの機会となるように近隣の公園に散策に出掛けた。</li></ul>

<p>*職員の研修</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 初任者研修や、夏休み期間にある研修、カトリック研修、年間を通しての奈良県の研修などに、積極的に参加をした。</li> <li>● 研修後には、研修報告書を各自提出して全員で見学することが出来るようにした。研修の成果を共有できるよう、研修報告会を開き保育にすぐ生かせるもの、課題となるものなどを選別した。研修で学んで得たものを全員で確認する必要があるが、お預かり保育の担当者も必要な為にやむを得ず参加できないこともあった。参加者は日常の保育から気付かなかったこと、様々なヒントを得て自己啓発につながった。</li> <li>● 研修の中味について保育現場での具体的な応用、実践ができる視点から報告し合った。</li> <li>● 令和元年度は、発達障害などの専門的知識を要する研修は必須であり、リハビリセンターなどから講師を招いて実施した。</li> <li>● 今後も、保育内容の研修のみならず保育者としての資質をあげて専門性を高めていける様に、積極的に参加の機会を紹介していく必要がある。</li> <li>● 日頃の保育活動の中での反省点、問題点、課題などを職員会で取り上げ、意見を交わして意識を高めておくことが研修会をよりよいものにする土台となっていることが確認できた。</li> </ul>
<p>*安全管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 防犯や道路への飛び出し事故防止の為、園の門扉の開閉について保護者に注意を喚起し、徹底を促した。</li> <li>● 園駐車場の周りの囲っているブロック塀の高さを低くした結果、視界も広くなり防犯抑止効果にもつながった。</li> <li>● 園内での転倒やぶつかりなどによる怪我の処置について、職員で徹底を計った。また、室内、室外での園児の行動や状況を常に把握し、確認を行うことを確かめ合った。</li> <li>● 火災の発生を防いだり、地震など不測の事態・事故への備え、心構えについて命を守る視点から話し合った。避難訓練（火災、地震を想定）年2回実施した。</li> <li>● 子どもの心身の健康状態や発達あるいは変化を、保育者全員で把握し合い、情報を共有することを旨とした。</li> <li>● 特に障害や発達に遅れがある子には、家庭（親）と密に連絡をとり、専門医の見解も踏まえてその子に合ったベストな指導方法を検討した。</li> <li>● アレルギーのある子には、細心の注意を払い、除去食、代替食などに配慮した。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新型コロナウイルス感染の流行が続き、園内でのクラスター感染防止のための対策、手立てについて検討を繰り返し行なった。市内の公立校に準じて、すみやかに休園措置を取った。</li> <li>● 休園中の園児の健康状態、様子を知るため、電話連絡を取り、不安を和らげるよう努め、励ました。</li> <li>● 休園中のお預かりの子ども的人数は、家庭の事情を考慮して、最小限にとどめて実施した。</li> </ul>
--	--

#### 4. 評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	
良好	<p>園児たちが日々意欲的に活動に取り組めるよう、秩序感があり、めりはりのきいた保育ができるよう環境を整えることを重点に努めた。</p> <p>園児の安全・安心のみならず、保育の充実のためにも一人一人の園児を常に大切に見守る姿勢や、子どもと対等の関係に立って遊ぶこと、子どもとともに感動や喜びを共有できることが、教育目標の達成にもつながると考えています。</p>

#### 5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
*職員の研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教員が保護者の願いを共有しながら園児の特性や個性を尊重し、子どもを生きた教材として学び取り実践していくように努める。</li> <li>● 教員が子どもについての情報（長所、美点、賞賛にあたることなど）や観察した内容をお互いに交換し、連携を密にして行く。</li> <li>● 子ども同士の仲間づくり、育ち合いを学ぶ。（仲間から受ける刺激、影響など）</li> <li>● モンテッソーリ教育の「モデリング」の精神を自覚し、保育全般に生かし使命を達成する。</li> </ul>
*保育環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 園児が日々新しい発見、気づき、感動が得られるよう、教員が園児一人一人に気持ち、愛情を込めて向き合い、子どもと喜びを共にする。</li> <li>● 絵画・英語・音楽・体育の専門教師と連携を計り、日常の保育に見られない子どもの特徴や様子なども掌握し、子どもの情操、能力、素質などについても意見交換を行う。</li> </ul>

<p>*安全管理</p>	<p>● 交通安全、地震、火災など、機会があるごとに指導し、子どもたちの意識に常にいだかせるようにする。</p> <p>※保護者と園との密な協力、連携</p> <p>園の教育方針と園活動について、保護者の理解を深めていただけるよう、園からの情報発信をまめに行い、「いくみ会」などを通して理解と協力を求めて行く。特にコロナウィルス感染予防の対策には、家庭と連携をとり万全を期す。</p>
<p>*情報の共有、発信</p>	<p>子ども達の中に育っているもの、幼稚園での取り組みの他に、新たに子ども園への移行措置について、今まで以上にきめ細かく保護者や地域の方々にも広く知っていただけるように発信していく。</p>

## 6. 関係者の評価

<p>人的環境のみならず、保育室の環境・設備などに留意されていて、日々の保育が整然と行われていることがうかがわれる。</p> <p>研修については、教員としての専門性、資質の向上についての自覚があり、研修報告などをやりながら互いに学び合っている。研修内容の勉強会も行うなど研修の学びを保育に生かすように努力している。</p> <p>安全については、防犯や火事・災害などの対応策はとられている。障害や発達が遅れている子にも配慮がなされ、教員の配置にも配慮されている。</p> <p>教員は送迎バスの乗務や預かり保育など保育外の仕事もやりこなしながら、保育全般に活発に取り組んでいる。また、子どもたちの自立と自律心を養うためにモンテッソーリ教育の精神を取り入れた保育を行っている。</p> <p>施設面の環境をいうと、せまい園庭と老朽化した園舎は今後改善の必要性が追われていると思います。</p> <p>現在社会が多様化している時代、子育てには、地域社会と園と保護者のつながり、連携がますます大切になって来ることは言うまでもありません。大和郡山カトリック幼稚園の今後の使命、役割に大いに期待を寄せております。</p>
--